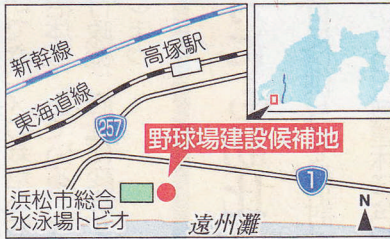


野球場用地 浜松市取得へ

県構想 トビオ東側9ターク



県が浜松市西区で整備構想を策定中の野球場について、浜松市は

5日までに、用地として市総合水泳場トビオ(同区篠原町)東側の民有地など約9秒を取得する意向を固めた。試算している用地取得費は約10億円とみられる。関係者への取材で分かった。

県が整備を検討している野球場は防災機能をもち、大規模地震発生時には津波避難

場所や緊急救援ヘリポートなどとして活用できる施設。市が県に建設を要望し、事務レベルで整備手法や機能などの協議を重ねている。

市は同日、市議会最大会派の自民党浜松に対し、建設候補地や用地取得などに関する説明を行った。市議会には、野球場整備に伴う市の負担が不明確などとして、県との調整を

急ぎ詳細を明らかにするよう求める意見が根強い。

新球場をめぐる、鈴木康友市長とは、鈴木康友市長とは、建設に関連する市の基金に5億円を寄付しているスズキの鈴木修会長が昨年12月、県庁に川勝平太知事を訪ねて早期整備を要望した。

知事は2020年度を目標に整備する方針を示したという。